

ブックスタート全国研修会 2023

日時：10月20日（金）13：30～16：00

開催方法：オンライン配信

プログラム：講演「子どもの声を聴く」小澤いぶき（児童精神科医・こども家庭庁アドバイザー）／報告「『こどもまんなか社会』とブックスタート」NPO ブックスタート／事例発表1「すべての赤ちゃんに絵本を一ボランティアと共に」神奈川県藤沢市総合市民図書館／2「体験」とともに届けたい思い—コロナ禍を経て」愛知県尾張旭市健康課

受付期間：～10月13日（金）

参加費：無料

申込方法：下記 URL から

[URL https://www.bookstart.or.jp/](https://www.bookstart.or.jp/)

見逃し配信：11月1日（水）～2024年1月31日（水）

[URL https://www.youtube.com/channel/UCswql1FyeH7xIs_HZXCATRw](https://www.youtube.com/channel/UCswql1FyeH7xIs_HZXCATRw)

問い合わせ先：NPO ブックスタート（全国研修会担当）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-19 角田ビル3階

☎ 03-5228-2891

✉ kenshu@bookstart.or.jp

第25回 看護国際フォーラム

日時：10月28日（土）13：00～16：20

開催方法：オンライン配信

テーマ：看護の未来を拓く起業という視点—地域における看護実践から

プログラム：「自由に看護し暮らすための選択肢としての起業・複業」吉江悟（一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事）／「日本の看護を

世界に輸出しよう！」川添高志（ケアプロ株式会社代表取締役）／「高齢者ケアの変革：在宅ケア組織の看護師が導く、エイジフレンドリーな環境でのパーソンセンタードケア—地域との協働を通して」（通訳あり）Sarit Orlofsky（ペース大学校看護学部准教授、在宅医療サービス Sterling Care）／ほか

定員：500名

参加費：無料

申込方法：下記 URL から

[URL https://forms.gle/BFDJRqZfChEkPzCx6](https://forms.gle/BFDJRqZfChEkPzCx6)

参加登録期限：10月20日（金）

事務局：看護国際フォーラム事務局
〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野2944-9

大分県立看護科学大学内

☎ 097-586-4300

✉ forum2023@oita-nhs.ac.jp

[URL https://www.oita-nhs.ac.jp/site/generalpublic/25th-forum.html](https://www.oita-nhs.ac.jp/site/generalpublic/25th-forum.html)

第19回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

日時：10月28日（土）～29日（日）

開催方法：現地会場、オンデマンド配信（11月1日～30日予定）

会場：一橋講堂（東京都千代田区）

テーマ：多職種で支える周産期リエゾンのバトン—皆の“育つ”“生きる”を支える

プログラム：会長講演「多職種で支える周産期リエゾンのバトン」竹内崇（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当准教授）／特別講演1「子どもの虐待予防と妊娠期・周産期からの妊産婦支援」鷺山拓男（とよたまこころの診療所所長）／2「ステップファミ

リー支援と新しい家族観—子どもの視点からの再検討」野沢慎司（明治学院大学社会学部教授）／シンポジウム1「地域包括ケアを支える周産期リエゾン—各職種の立場から」秋山千枝子（あきやま子どもクリニック院長）、堀川直希（コミュノテ風と虹のぞえの丘病院院長）、岩永成晃（コミュノテ風と虹のぞえの丘病院のぞえ周産期メンタルヘルス研究所所長）、山岸由紀子（産前産後ケア推進協会訪問看護ステーション co-co-ro 管理者）、安田貴昭（埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック准教授）／2「周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド2023を上手に使いこなそう！」根本清貴（筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学准教授）、菊地紗耶（東北大学病院精神科講師）、相川祐里（済生会横浜市東部病院こころのケアセンター心理室課長）、雨宮怜（筑波大学体育系・アスリートメンタルサポートルーム助教）、宮崎弘美（ふくしま心のケアセンター、臨床心理士・公認心理師）／3「“育つ”“生きる”を支える医療・自治体の取り組み」伊角彩（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学分野講師）、高澤啓（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野学内講師）、伊藤亜希（東京医科歯科大学病院医療連携支援センター医療福祉支援室ソーシャルワーカーマネージャー）、馬場香里（東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター主席研究員）／研修・教育「①発達障害」藤平和吉（群馬大学医学部附属病院精神科神経科病院講師）／「②薬物療法」清野仁美（兵庫医科大学精神科神経科学講座講師）／「③母子のための

地域包括ケアシステム」井本寛子
(日本看護協会常任理事)／ほか

参加登録期間：

～10月29日(日)

参加費：

会員(不課税)1万1000円、非会員
(課税)1万2000円、学生1000円
【ワークショップ】1000円

※学生(大学院生は含まない)は、
学生証または在学証明書を参加登
録フォームに添付

申込方法：下記 URL から

URL [https://procomu.jp/pmh2023/
jizen.html](https://procomu.jp/pmh2023/jizen.html)

問い合わせ先：株式会社プロコムイ
ンターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明
3-6-11 TFT ビル東館9階

☎ 03-5520-8821

✉ pmh19@procom-i.jp

URL [https://procomu.jp/pmh2023/
index.html](https://procomu.jp/pmh2023/index.html)

保健師修学資金貸付事業

対象：保健師養成課程に在籍してい
る方で、将来神奈川県内の自治体に
おいて保健師として働く意思がある方

●保健師養成過程在籍中

貸付額：月額4万円(年額48万円)

貸付期間：貸付決定から養成課程卒
業まで(最大2年間)

申請期間：～10月31日(火)必着

申請方法：下記 URL から(審査に
より貸付者を決定。12月頃予定)

URL [https://www.pref.kanagawa.jp/
docs/t3u/cnt/f5510/documents/
syugakusikingasapouto.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/cnt/f5510/documents/syugakusikingasapouto.html)

●保健師養成課程卒業後

神奈川県内の自治体において保健師
として5年間継続して勤務した場合、
全額返還免除が可能

修学資金に関する問い合わせ：神奈
川県健康医療局保健医療部医療課人
材養成グループ

☎ 045-210-1111(代表)内線4766

第82回日本公衆衛生学会 総会

日時：10月31日(火)～11月2日
(木)

会場：つくば国際会議場(茨城県つ
くば市)

テーマ：実践と研究のシナジーが織
りなすー保健医療介護サービスの進
化と調和

参加登録期間：～11月2日(木)

申込方法：下記 URL から

URL [http://jsph82.umin.jp/
registration.html](http://jsph82.umin.jp/registration.html)

参加費：1万円、意見交換会5000
円

実行委員会事務局・学術部会事務局

局：筑波大学医学医療系ヘルスサー
ビスリサーチ分野

〒305-8575 茨城県つくば市天
王台1-1-1

運営事務局：株式会社コンベンショ
ンプラス

〒113-8538 東京都文京区湯島
2-31-14 湯島ファーストジェネ
シスビル5階

☎ 03-4355-1138

✉ jsph82@convention-plus.com

URL [http://jsph82.umin.jp/index.
html](http://jsph82.umin.jp/index.html)

第13回日本在宅看護学会 学術集会

日時：11月18日(土)～19日(日)

開催方法：現地会場、オンデマンド
配信(11月10日～12月19日予定)

会場：クロス・ウェーブ船橋(千葉
県船橋市)

テーマ：在宅看護、すぐそばに在る
登録期間：～12月17日(日)

参加費：

会員1万円、非会員1万2000円、
大学院生／プレス3000円、学生

(基礎教育課程)1000円

申込方法：下記 URL から

URL <https://13th.janhc.jp/>

大会事務局：東京医療保健大学千葉
看護学部 清水準一研究室

〒273-8710 千葉県船橋市海神
町西1-1042-2

✉ office13@13th.janhc.jp

日本子ども虐待防止学会 第29回学術集会滋賀大会 プレコンgres企画 2023年度親子ヘルサポ 第2回講演会

日時：11月24日(金)18:30～
20:30

開催方法：現地会場、オンライン配
信

会場：ピアザ淡海滋賀県立県民交流
センター(滋賀県大津市)

テーマ：公衆衛生の重要課題として
の児童虐待予防への取り組み

プログラム：1「児童虐待予防に向
けた多機関連携の仕組みと支援体制
づくりー石川県の保健所の取り組み
から」沼田直子(石川県南加賀保健
福祉センター)／2「市町村との協
働による児童虐待予防支援体制づく
り」黒橋真奈美(滋賀県立大学)／
グループディスカッション

参加費：無料

申込方法：下記 URL から

URL [https://forms.gle/
GUcwqjtC3ZFy1HXE6](https://forms.gle/GUcwqjtC3ZFy1HXE6)

運営事務局：保健師による親子ヘル
ス&サポート推進協会事務局

✉ oyakohelsapo@gmail.com

URL <https://fhna.jp/>

第38回日本国際保健医療 学会学術大会

日時：11月24日(金)～26日(日)

会場：東京大学安田講堂・伊藤国際
学術研究センター、山上会館等(東

京都文京区)

テーマ: グローバルヘルスの海へー
多様性を包摂する豊かさを求めて

事前参加登録期間: ~11月17日
(金)

参加費:

【事前】 会員 1万円 (大学院・学生・留学生 2000円)、非会員 1万5000円 (大学院・学生・留学生 3000円)

【当日】 会員 1万5000円 (大学院・学生・留学生 3000円)、非会員 1万7000円 (大学院・学生・留学生 4000円)

申込方法: 下記 URL から

URL <https://pco-prime.com/gh2023/registration.html>

運営事務局: 「グローバルヘルス合同大会 2023」運営事務局
〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-10-4 エムアイビル 4 階 (株) プライムインターナショナル内
✉ gh2023@pco-prime.com

第 30 回日本行動医学会 学術総会

日時: 12月2日 (土) ~3日 (日)

開催方法: 現地会場、オンデマンド
配信

会場: 東京大学伊藤国際学術研究センター (東京都文京区)

テーマ: 人に寄り添い、社会を前へ

プログラム: 特別講演「健康格差対策としての伴走支援 (仮)」近藤克則 (千葉大学、国立長寿医療研究センター) / 教育講演「行動変容のためのヘルスコミュニケーション (仮)」奥原剛 (東京大学医療コミュニケーション学) / 会長講演「人と社会のためのパブリックメンタルヘルス」西大輔 (東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野教授) / シンポジウム①「妊娠婦への心理的支援 (仮)」 / ②「研究と実践をつな

ぐ社会実装 (仮)」 / 教育研修委員会企画シンポジウム「行動医学における教育研修の課題と今後のあり方」 / 将来構想委員会企画ワークショップ「若手の為の統計講座—基本から最新トレンドまで」 / ほか

事前登録: ~11月10日 (金)

登録方法: 下記 Web サイトの参加登録フォームより

URL <https://jsbm30.yupia.net/sanka.html>

参加費:

【事前登録】 会員 8000円、非会員 9000円、大学院生 4000円、学部生 2000円

【当日受付】 会員 9000円、非会員 1万円、大学院生 4000円、学部生 2000円

大会事務局: 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

✉ jsbm30@m.u-tokyo.ac.jp

運営事務局: 株式会社ユピア

〒456-0005 愛知県名古屋市熱田区池内町 3-21

☎ 052-872-8101

✉ jsbm30@yupia.net

URL <https://jsbm30.yupia.net/>

日本公衆衛生看護学会 認定専門家

2023 年度申請受付開始

概要: 日本公衆衛生看護学会認定専門家 (Public Health Nursing Specialist of Japan Academy of Public Health Nursing) とは、日本公衆衛生看護学会が認定した公衆衛生看護の実践・教育・研究の発展に貢献する公衆衛生看護の専門家です。公衆衛生看護の専門能力に関わる知識、技術、態度について評価し、その能力を有する者を日本公衆衛生看護学会認定専門家 (以下、認定専門家)

と認証します。

認定条件: 次の要件を全て満たす者。

- ・公衆衛生看護の経験 (実践・教育・研究) が 10 年以上

※公衆衛生看護の経験とは、行政、学校、産業、地域包括支援センター、国際保健等機関、民間事業所、開業、教育機関、研究機関など、多様な場での公衆衛生看護活動を想定しています。

- ・日本公衆衛生看護学会会員歴が継続して 3 年以上

- ・所定のポイントが 200 ポイント以上 (下記の審査方法を参照)

申請費用: 1 回の申請につき 1 万円。

申請期間: 10月16日 (月) ~12月22日 (金) (毎年同時期に申請受付)

審査方法: 書面審査

※「日本公衆衛生看護学会における活動」と「その他の公衆衛生看護活動」について、合計 200 ポイント以上あることが必要。申請時点からさかのぼって 5 年間の活動が申告できる。初回申請時のみ、「公衆衛生看護領域での就業経験年数が 10 年以上」も 20 ポイントとして加算される。

認定有効期限: 認定後 5 年間

※登録時に認定証と認定バッジを交付。

※引き続き認定を受けたい場合は、有効期限の最終年度の申請期間中に申請。

申請方法: 日本公衆衛生看護学会ウェブサイト (<https://japhn.jp/>) の認定専門家ページから、申請システムに入り必要な情報を入力し、経歴や申請料払込の控え等をアップロードする。詳細は日本公衆衛生看護学会ウェブサイトを参照。

問い合わせ先: 日本公衆衛生看護学会事務局

✉ japhn@nacos.com